

平成22年度青少年ボランティア賞被表彰者・団体

< 団体の部 >

No.	団体名	活動内容
1	金沢市立 朝日小学校 児童会	平成8年から、年3回、校区の公園や通学路のゴミ拾いに取り組み、また、平成13年からは、年1回、社会福祉施設「希望が丘」を訪問し、太鼓演奏や合唱、劇を披露している。現在、6年生が活動の中心となっており、今年度からは、ペットボトルキャップ集めにも全校児童が取り組むなどボランティア活動の輪を広げている。
2	七尾市立 有磯小学校 児童会	昭和48年9月の学校設立当初から、週1回、学校前のバス停の清掃活動をしている。今年度7月からは、「自慢のふるさとを守る活動」の一環として、全校児童が参加して地域の「庵シーサイド公園」の海岸清掃活動にも取り組んでいる。
3	能美市立 辰口中学校 生徒会	平成5年3月から、年1回、地区食生活改善推進協議会メンバーが作った「雑弁当」を一人暮らしや調理困難な高齢者に届ける活動をしている。また、平成17年から市社会福祉協議会主催のボランティア活動にも参加している。
4	七尾市立 朝日中学校 文化部	平成13年から、年3～4回、一人暮らしの高齢者への宅配弁当の包み紙を絵手紙として描いている。今年度からは高齢者宅に出向き、手渡しをして交流を深めている。平成15年から、年1回、高齢者のお世話をする敬老福祉大会などにボランティアとして参加している。
5	県立七尾特別 支援学校 寄宿舎舎生会	平成2年から、月1回、学校近くのJR徳田駅の清掃活動をしている。また、駅の待合室に児童生徒の作品展示を行っている。その他にも毎年、学校周辺の道路の清掃活動にも取り組んでいる。
6	金沢工業大学 学友会 学生地域活動推進 委員会	平成16年から豪雪地帯である白山市桑島地区（旧白峰村）で開催されている「雪だるままつり」にボランティアとして参加し、桑島地区の地域おこしに協力している。メイン会場のシンボルとなる「大雪だるま」、子どもたちが楽しむ「雪のすべり台」や依頼された高齢者宅に出向いて雪だるま造りに取り組んでいる。

< 個人の部 >

No.	氏名	活動内容
1	奥下 雅士 県立富来高等学校 3年	平成17年春（小学校6年生の3学期）頃から、近所の駄菓子店を営む足の不自由な女性（70代）を気遣い、女性の代わりに週2回の収集日にゴミ出しを行ってきた。
2	酒井 学 津幡町青年団 協議会 （23歳）	小学生の高学年の頃から地域の子ども会連合会の委員として活躍し、中・高校生リーダーを務め、現在は、シニアリーダーとして小中校生リーダーの育成を行っている。また、地区青年団事務局長、「つばた町民八朔祭り」運営委員として地域社会に貢献している。

